朝九小だより

朝霞市立朝霞第九小学校
令和8年10月30日（金）
11月号　児童数　460名
TEL：048－466－4481

【学校教育目標】　http://www.asakadai9shou.city-asaka.ed.jp
「心豊かでたくましい人間の育成」　すすんで学ぶ子　思いやりのある子　たくましい子
【めざす学校像】「元気なあいさつと明るい笑顔で輝きのある学校」

読書で育む『読解力』と『生きる力』～本を開き、未来の可能性を広げよう～

校　長　　吉澤　めぐみ

◇全国学力テストアンケートの結果からわかる動画・SNSの利用時間と読書量

6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査によると、小学校6年生の約37%がSNSの閲覧や動画視聴に1日3時間以上を費やしていることが明らかになりました。また、利用時間が長い児童ほど平均正答率が低くなる傾向が見られる一方、読書が好きな子供ほど正答率が高いという結果も出ています。そして、読書に関しては「読書時間がゼロ」という児童が最多を占めているということもわかりました。

SNSなどの短い文章や簡略化されたやりとりが増えると、推敲することなく言葉を送信してしまい、長文をじっくり読み書きする機会が減少します。これが読解力の低下や、他者との円滑なコミュニケーションを難しくする一因と言われています。 文章を正しく読み解き、相手の意図を理解する「読解力」は、あらゆる学習の基盤となるだけでなく、将来のコミュニケーションや豊かな人生（ウェルビーイング）を支える大切な力です。

◇ 本は「新しい発見」と「知恵」を与えてくれるパートナー

「読解力」を高めるために読書は大変有効です。

先日の全校朝会では子供たちに読書についてお話ししました。本は私たちにたくさんのことを教えてくれます。歴史や科学の図鑑は「もっと調べてみたい」という探究心を刺激し、物語は一瞬で見たことのない世界へ連れて行ってくれます。時には、友達関係や自分の悩みにそっと寄り添ってくれる相談相手にもなってくれます。 読書を習慣化することは一生の宝物になると思います。

◇ ご家庭でできる「読書習慣化」のアイデア

読書を習慣づけるために、ご家庭で以下のような取り組みはいかがでしょうか。

1. **「読みかけの本」をいつも用意しておく**
   読みかけの本は本棚に戻さず、食卓やリビングなど、手の届く場所に常に本を置いておきます。
2. **家族みんなで「ノーテレビ・ノーSNS」の読書タイム**
   1日15分～30分程度、テレビやスマホを消し、家族みんなで本を読む時間を作ります。参加者が多いほど子供の意欲も高まります。
3. **読んだあとのアウトプットと声かけ**
   本を読み終えたら（あるいは少し読んだら）、「どんなお話だった？」と尋ねてみてください。子供が話してくれたら「また続きを聞かせてね」と声をかけることで、モチベーションが長続きします。
4. **少しだけチャレンジ要素のある本へ**
   薄い本から始めて慣れてきたら、保護者の方が少しだけ負荷のかかる厚みや内容の物語を勧めてみてください。自分のハードルを乗り越えて一冊を読み切った体験は、逆上がりや二重跳びができた時のような大きな達成感と自信を生み出します。

本を開けば、そこにはいつも新しい発見と冒険が待っています。「1日5ページ、10ページから」で構いません。子供たちが本を手に取りたくなる環境を一緒に作っていきましょう。

最後に、先日は運動会にお越しいただきありがとうございました。子供たちのすばらしい演技、競技に真剣に取り組む姿に感動しました。当日までの健康管理、ご準備、そして、応援いただきありがとうございました。